

製品名: ATP2A1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81860**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP2A1
別名	ATP2A; SERCA1
遺伝子 ID	487.0
SwissProt ID	O14983
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATP2A1 (AA: 487-631) の精製された組み換え断片。

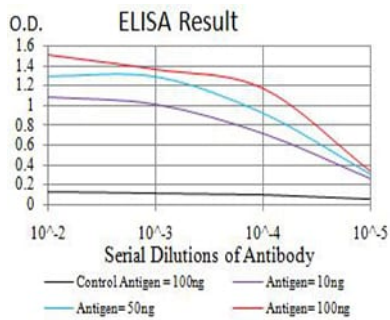
背景

この遺伝子は、筋細胞の筋小胞体または小胞体に存在する細胞内ポンプである SERCA Ca(2+)-ATPase の 1 つをコードします。この酵素は、ATP の加水分解と細胞質から筋小胞体腔へのカルシウムの転座を触媒し、筋の興奮と収縮に関与しています。この遺伝子の変

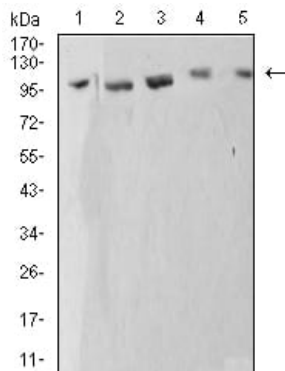
異は、運動中の筋弛緩障害の増強を特徴とするプロディの常染色体劣性遺伝型の原因となります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが生成されます。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C2C12 (1)、COS7 (2)、HeLa (3)、K562 (4)、および Jurkat (5) 細胞溶解物に対する ATP2A1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。